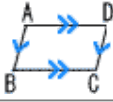
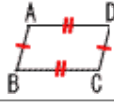


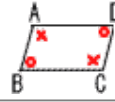
[平行四辺形の定義]
2組の対辺がそれぞれ
平行な四角形



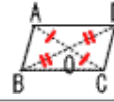
[性質1]
2組の対辺は
それぞれ等しい



[性質2]
2組の対角は
それぞれ等しい



[性質3]
対角線はそれぞれの
中点で交わる。



印刷して、紙の上でやってネ!

☺ 空欄をうめて、次のことから証明しなさい。

<p>1 [性質1] 平行四辺形の2組の対辺は、それぞれ等しい</p> <p>[証明1] △ABCと において、</p> $\begin{cases} AC = & () \\ \angle BAC = & (AB//DC, \text{錯角}) \\ \angle BCA = & (BC//AD, \text{錯角}) \end{cases}$ <p>合同条件： () がそれぞれ等しいから、</p> <p>△ABC≡ よって、AB= , BC= </p>	<p>2 [性質3] 平行四辺形の対角線は、それぞれの中点で交わる</p> <p>[証明3] △ABOと において、</p> $\begin{cases} AB = & (\text{証明1より}) \\ \angle OAB = & (AB//DC, \text{錯角}) \\ \angle OBA = & (AB//DC, \text{錯角}) \end{cases}$ <p>合同条件： () がそれぞれ等しいから、</p> <p>△ABO≡ よって、OA= , OB= </p>
<p>3 □ABCDの辺上に、BE=DFとなる点EとFをとるとき、AE=CF</p> <p>[証明] △ABEと において、</p> $\begin{cases} AB = & (\text{平行四辺形の対辺}) \\ BE = & (\text{仮定}) \\ \angle B = & (\text{平行四辺形の対角}) \end{cases}$ <p>合同条件： () がそれぞれ等しいから、</p> <p>△ABE≡ で、AE= </p>	<p>4 □ABCDで、∠Aの二等分線を引く、辺BCとの交点をEとするとき、△ABEは二等辺三角形となる</p> <p>[証明] △ABEにおいて、</p> $\begin{cases} \angle BAE = & (\text{仮定}) \\ \angle BEA = & (AD//BC, \text{錯角}) \end{cases}$ <p>よって、∠BAE=∠BEA が等しいから、</p> <p>△ABEは </p>

各図で、青印は仮定、赤印は結論を表している